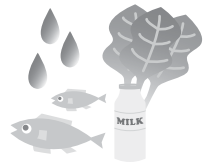


## 「子どもたちの未来と自然エネルギーを考える八王子市民講座」ってなあに？

東京電力の福島第一原子力発電所の事故によって、水や野菜、魚などから放射性物質が検出されています。学校給食で出される牛乳は、放射能に汚染されていないのか心配です。今までどおり子どもを砂場で遊ばせたり、プールに入れたりしてよいのかも気になります。周りの親や先生方は、政府が大丈夫だと言っているからと気にしていない人も多く、自分だけが心配して孤立してしまっているように感じます。



福島原発の収束作業は遅々として進んでいません。現場では大量に被ばくをした人も出ていて健康が心配です。こんな大事故があったにもかかわらず、政府は停止中の原発を再稼働させようとしています。電気を使うためには、このまま原発に頼らざるを得ないのでしょうか。

今回の事故で私たちはさまざまな不安や疑問を抱きました。八王子では平和をめざす個人や団体が党派を超えて八王子平和市民連絡会というネットワークをつくっており、その中の有志が昨年4月中旬に集まって、こうした不安や疑問に少しでも応えられるように連続市民講座を企画しました。第1回講座以降、講座を企画するための話し合いに参加する人が増え、今では半数以上が新しく加わった人になりました。



私たちは、単に講座を開催するだけでなく、力を合わせて少しでも現実を変えていきたいと考えています。いま八王子では、市民講座での繋がりをきっかけにして「八王子こどもの未来を守る会」「八王子市民放射能測定室ハカルワカル広場」「福島子ども支援・八王子」といった様々な取り組みが生まれてきています。講師に来てくださった田中優さんの応援メッセージ「一人の百歩より百人の一步、小さな力を集めて解決していきましょう」をともに実現しませんか。

### 私も八王子市民講座を応援しています

**田中 優さん** (NPOバンク「未来バンク事業組合」理事長)

福島原発震災は、電力会社をめぐる「改善できない構造問題」を露呈させました。なぜ人々が自然エネルギーで発電しても送電線につなげないのか？なぜ原子力が優先され、メディアもまたタブーのようにふれられないのか？

これを解決していくには、今、一人ひとりが動いていくしかありません。一人の百歩より百人の一步、小さな力を集めて解決していきましょう。

**山田 真さん** (八王子中央診療所理事長、子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク代表)

福島第一原発の事故は放射能による広範な環境汚染をひき起こしてしまいました。この環境の中でこれから生きていかなければならない子どもたちの未来が心配です。これ以上の被害を子どもたちに与えないために、私たちは原子力に依存したエネルギー政策を見直さねばなりません。脱原発をめざした行動を起こすためには、まず現状を正しく認識する学習が必要ですから、この講座の意義は大きいと思います。講座を期待し、応援しています。

**崎山 比早子さん** (元放射線医学総合研究所主任研究官、現高木学校)

地震はまたいつ起こるか予想もつかないにもかかわらず、相変わらず他の原発は動いています。第二の原発事故が起これば日本は終わりです。子どもたち、自分たちの未来を奪われてしまわないうちに、みんなで手を携えて一日も早く原発から脱却しましょう。

#### ▶ これまでの講座 (YouTubeにて映像公開中です)

●第1回講座／2011年5月5日

放射能から子どもたちを守るために

お話：崎山 比早子さん (元放射線医学総合研究所主任研究官、現高木学校)

コメント：山田 真さん (小児科医、八王子中央診療所理事長)

●第2回講座／2011年6月4日

八王子からはじめる、原発に頼らない社会

お話：田中 優さん (NPOバンク「未来バンク事業組合」理事長)

●第3回講座／2011年7月23日

3・11以降を生きる

ゲスト：香田 頼子さん (小金井市放射能測定器運営連絡協議会・会長)

：中嶋 直子さん (同・測定部長)

●第4回講座／2011年10月15日

福島の子どもたちを守りたい！

お話：山田 真さん

●第5回講座／2012年3月10日

福島の子どもたちのために、いま何ができるか？

お話：吉野裕之さん (子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク)